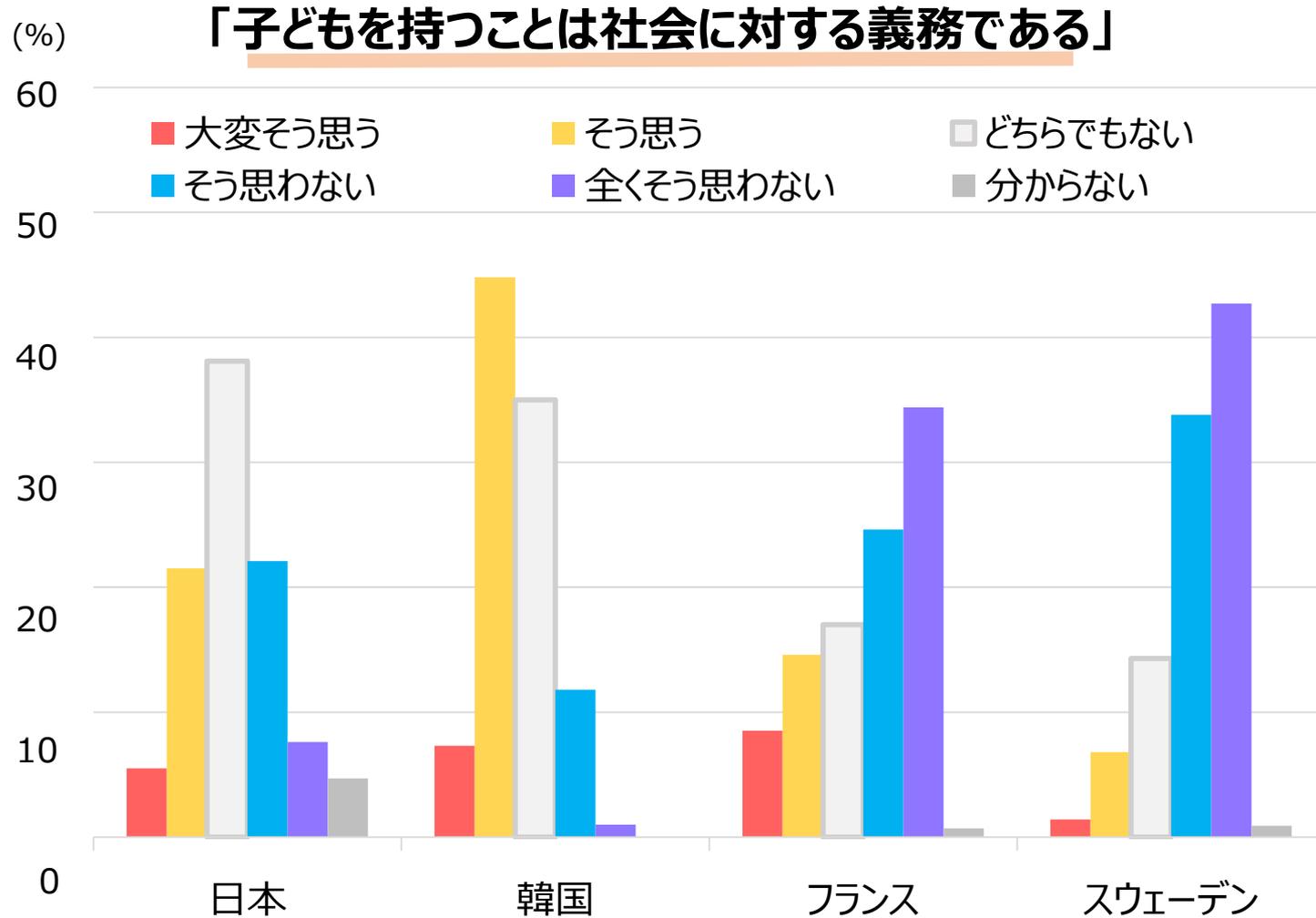


# 意識調査から見る日本人の出会い・結婚

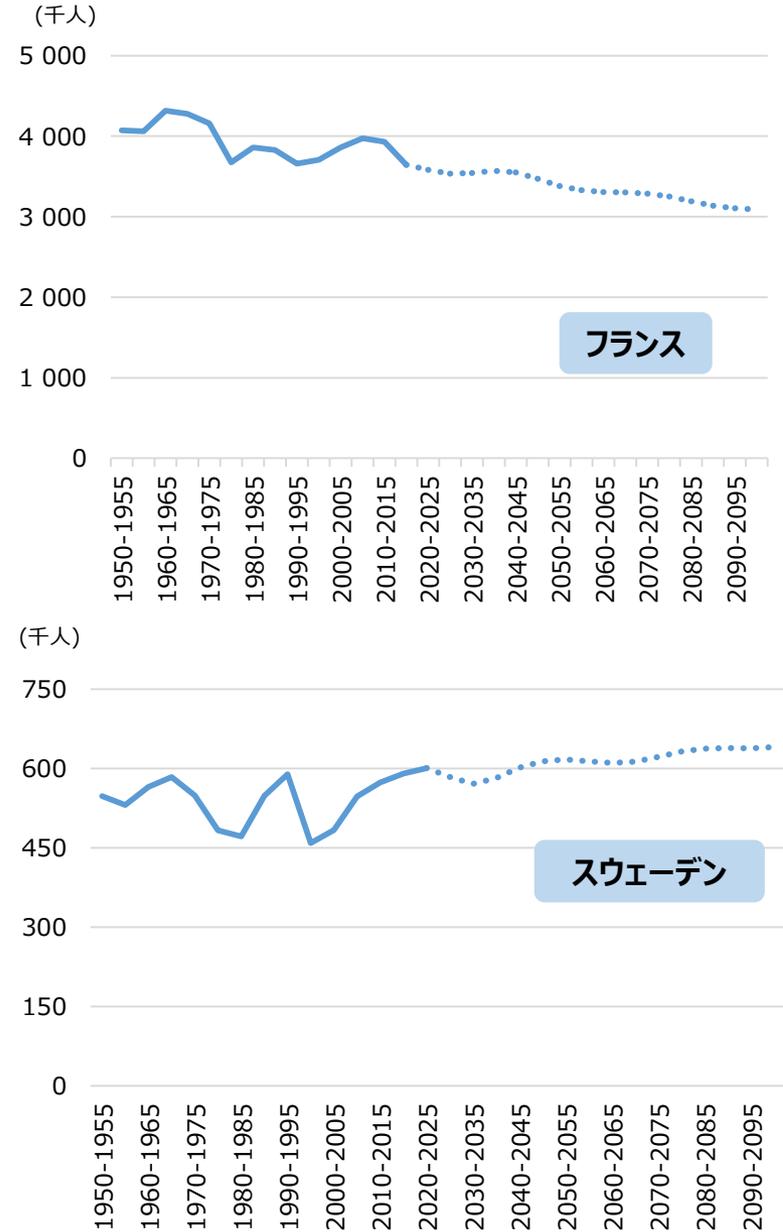
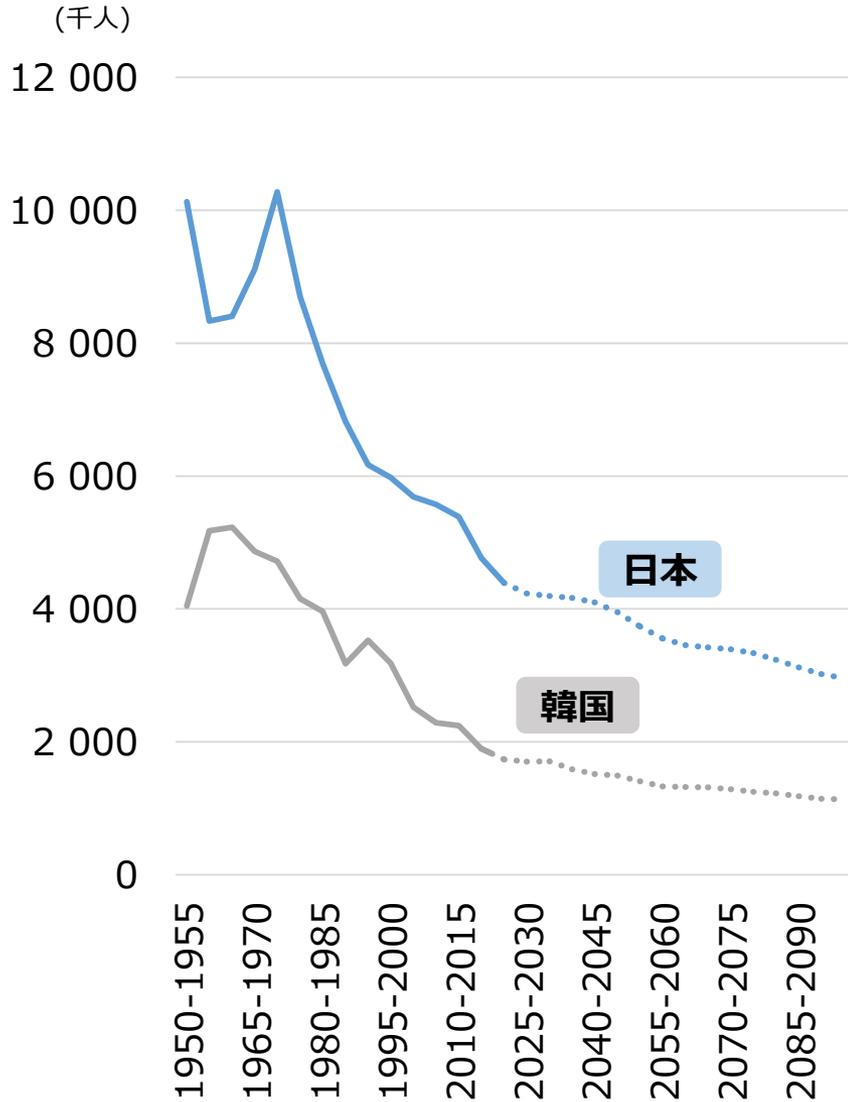
網谷理沙・中島安規

財務総合政策研究所



(注)回答のうち、「未回答」、「その他」は含めていない。  
(出所)World Values Survey (2017-2020)

# 出生数と子供を持つことの義務感は必ずしも結びつかない

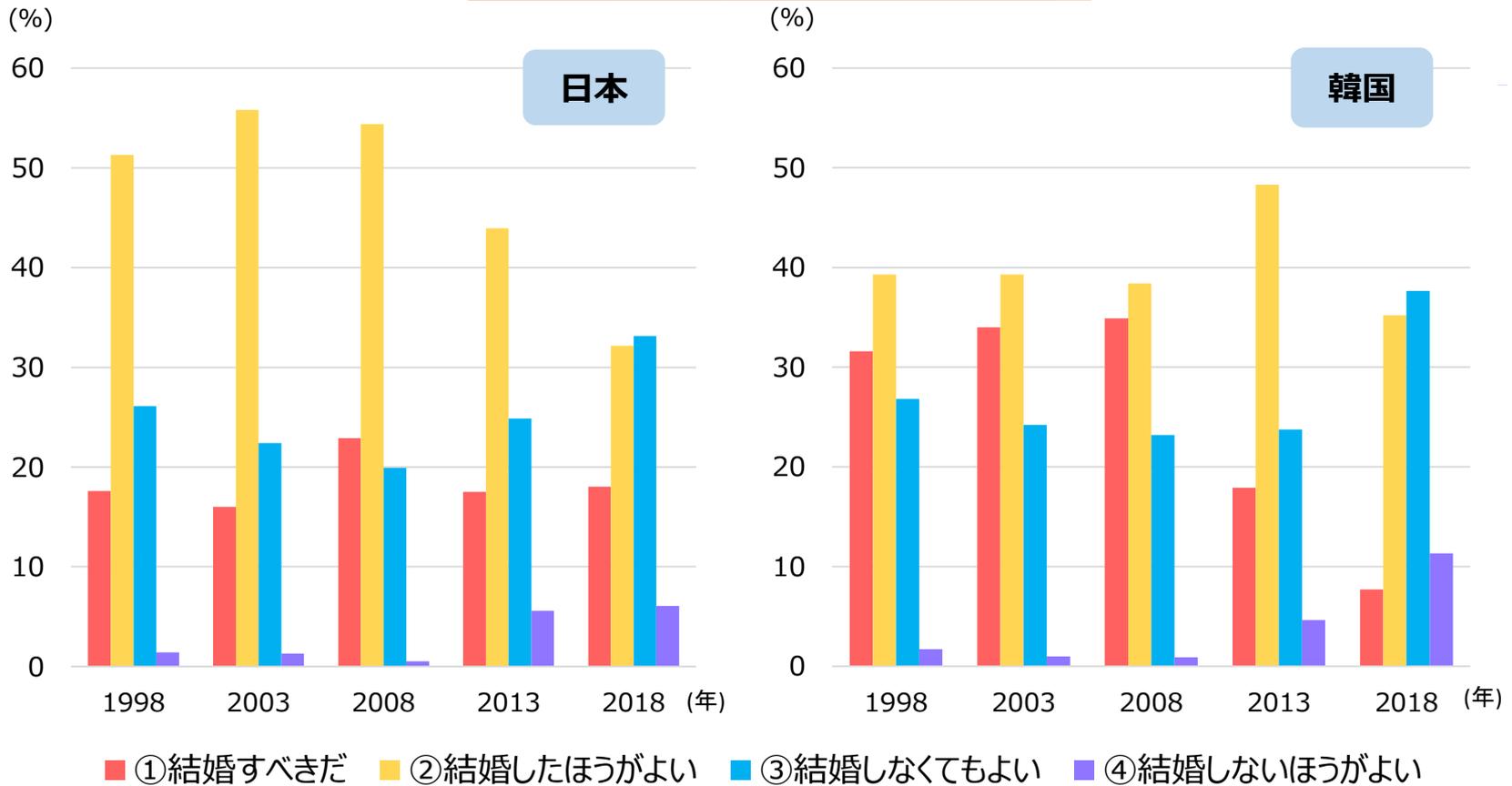


(注)点線は予測値

(出所)UN Population Prospects 2019

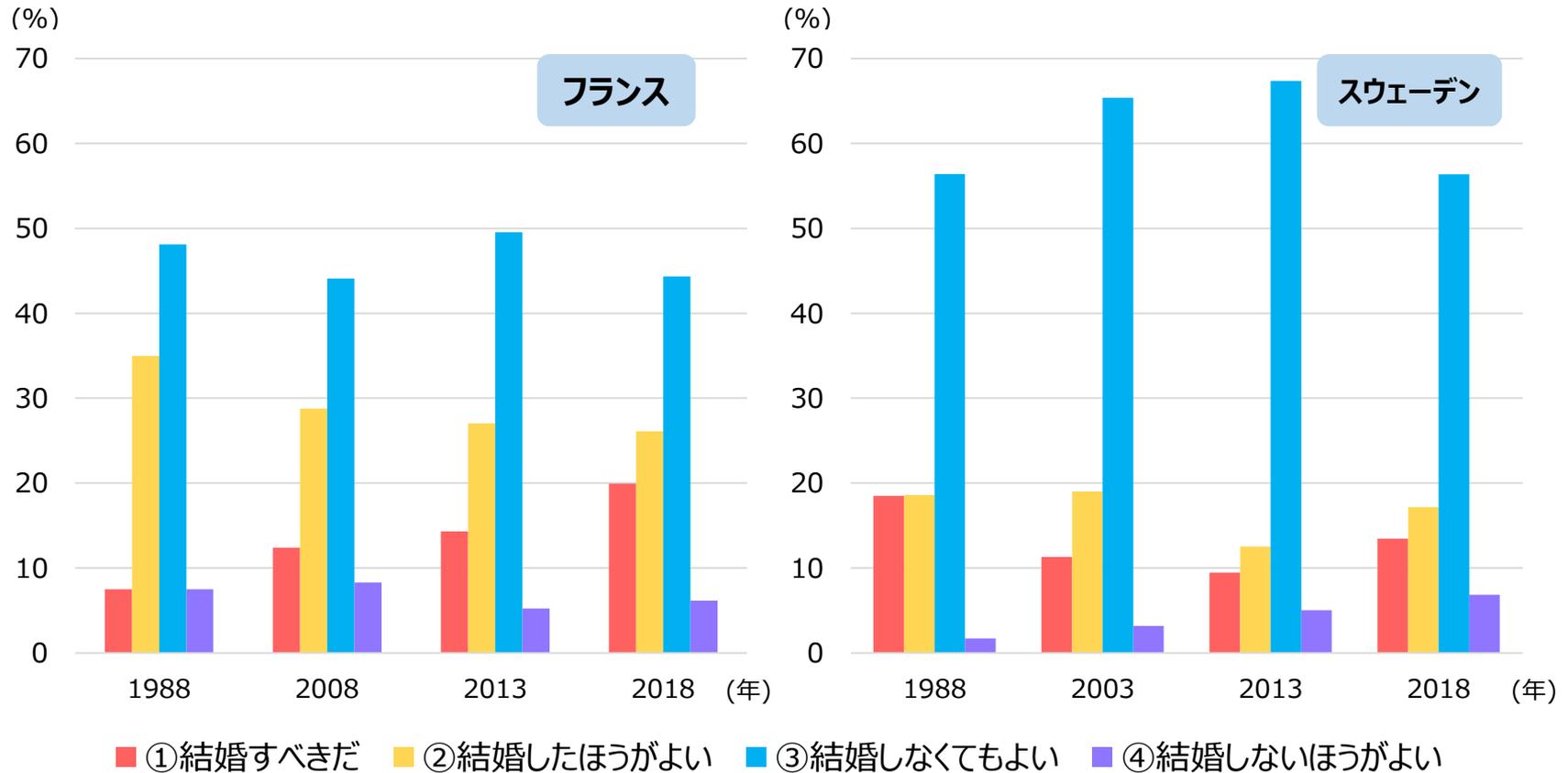
# 結婚について「しなくてもいい」という考えが増加

## 「結婚についてどうお考えですか」



(注1) 内閣府「世界青年意識調査(第1～8回)」は満18～24歳の男女を対象とし、「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25,H30)」は満13～29歳のうち、満18～24歳のみ抽出。  
 (注2) 回答のうち「わからない」、「無回答」は含めていない。  
 (出所) 内閣府「世界青年意識調査(第1～8回)」  
 内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25年度,H30年度)」

## 「結婚についてどうお考えですか」

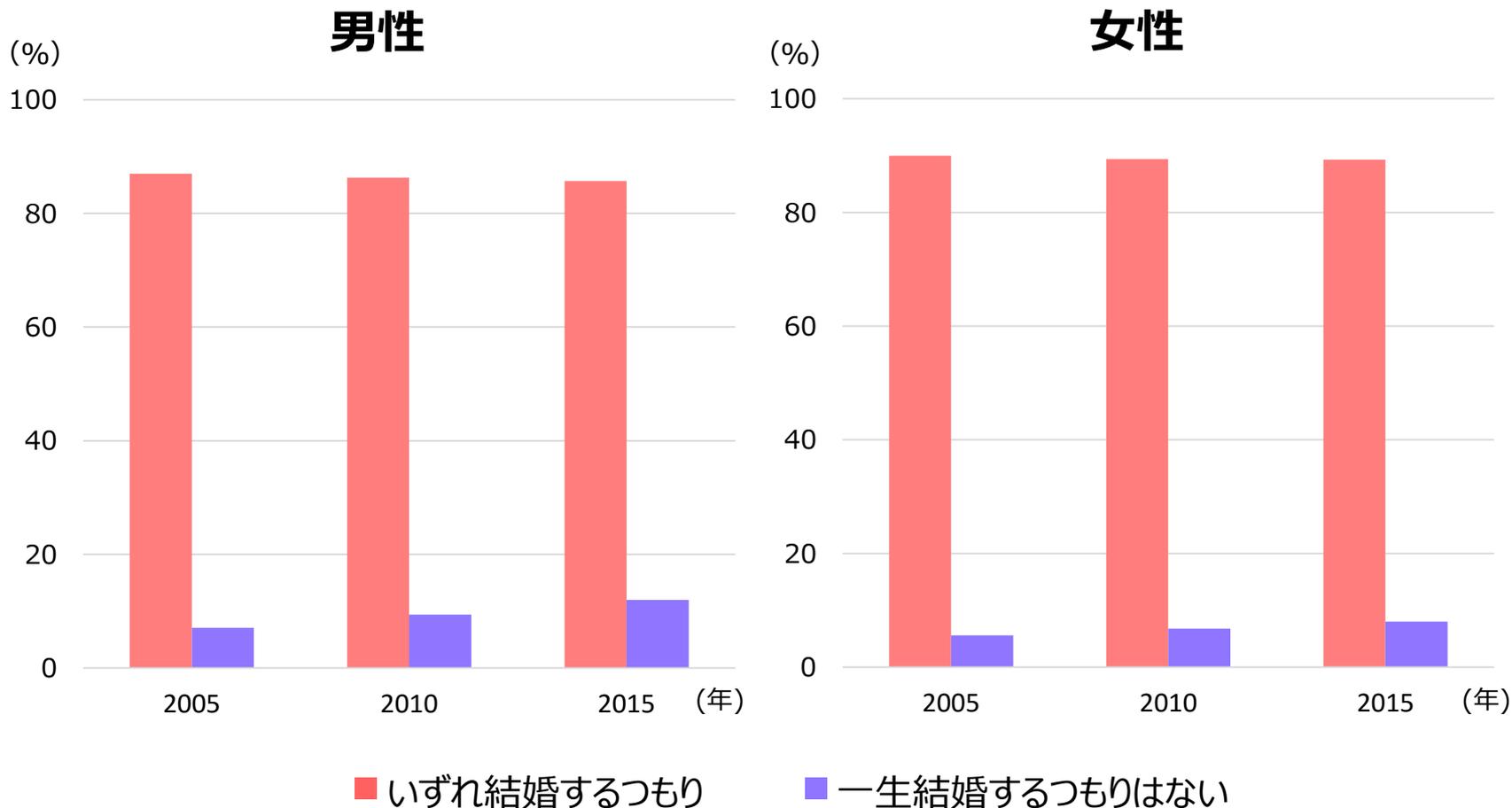


(注1)内閣府「世界青年意識調査(第1~8回)」は満18~24歳の男女を対象とし、「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25,H30)」は満13~29歳のうち、満18~24歳のみ抽出。

(注2)回答のうち「わからない」、「無回答」は含めていない。

(出所)内閣府「世界青年意識調査(第1~8回)」

内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25年度,H30年度)」



(質問)「自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどれですか。」  
(対象者)18~34歳の未婚者(離死別者を含まない)  
(出所)国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」

## 「恋愛に対する考え方」(複数回答)

	恋愛よりも勉強や仕事を優先したい	恋愛よりも趣味を優先したい	交際すると相手との結婚を考える	それほど好きではない人とも恋愛や交際をしてもかまわない	いつでも恋愛をしたい	気になる相手には自分から積極的にアプローチをする	相手からアプローチがあれば考える	交際することで人生が豊かになる	恋愛は面倒だと感じる	恋愛することに自信がない	恋愛はしたいが、お金がかかる
日本	19	19	43	6	11	20	35	43	13	8	11
フランス	19	8	26	11	30	16	8	61	1	8	3
スウェーデン	14	9	33	22	20	37	26	91	17	1	3

(%)

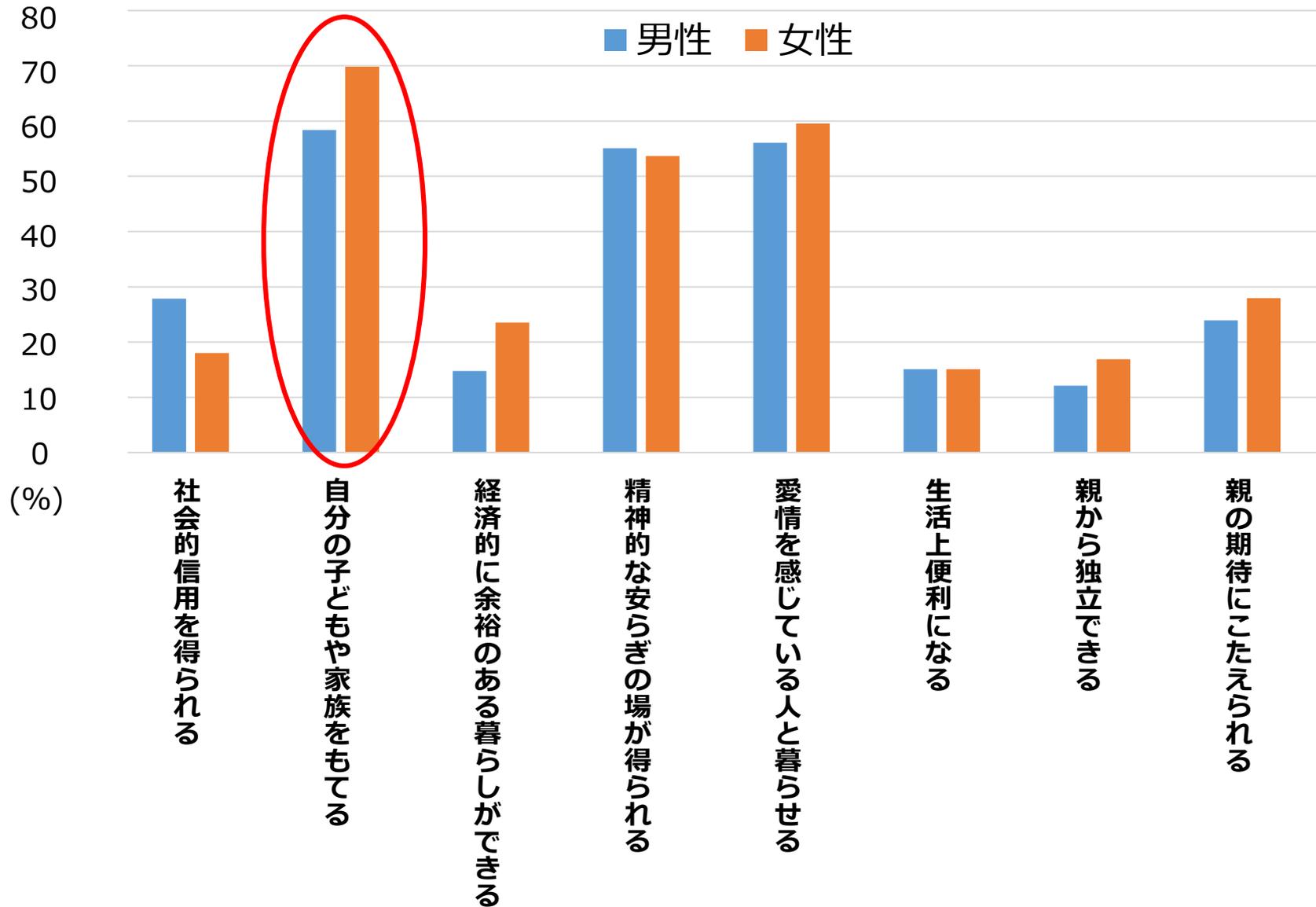
(対象者)20歳から49歳までの男女

(質問内容)「恋愛に関するあなたの考えについて、この中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(M. A.)」

(注)回答率は少数第1位を四捨五入

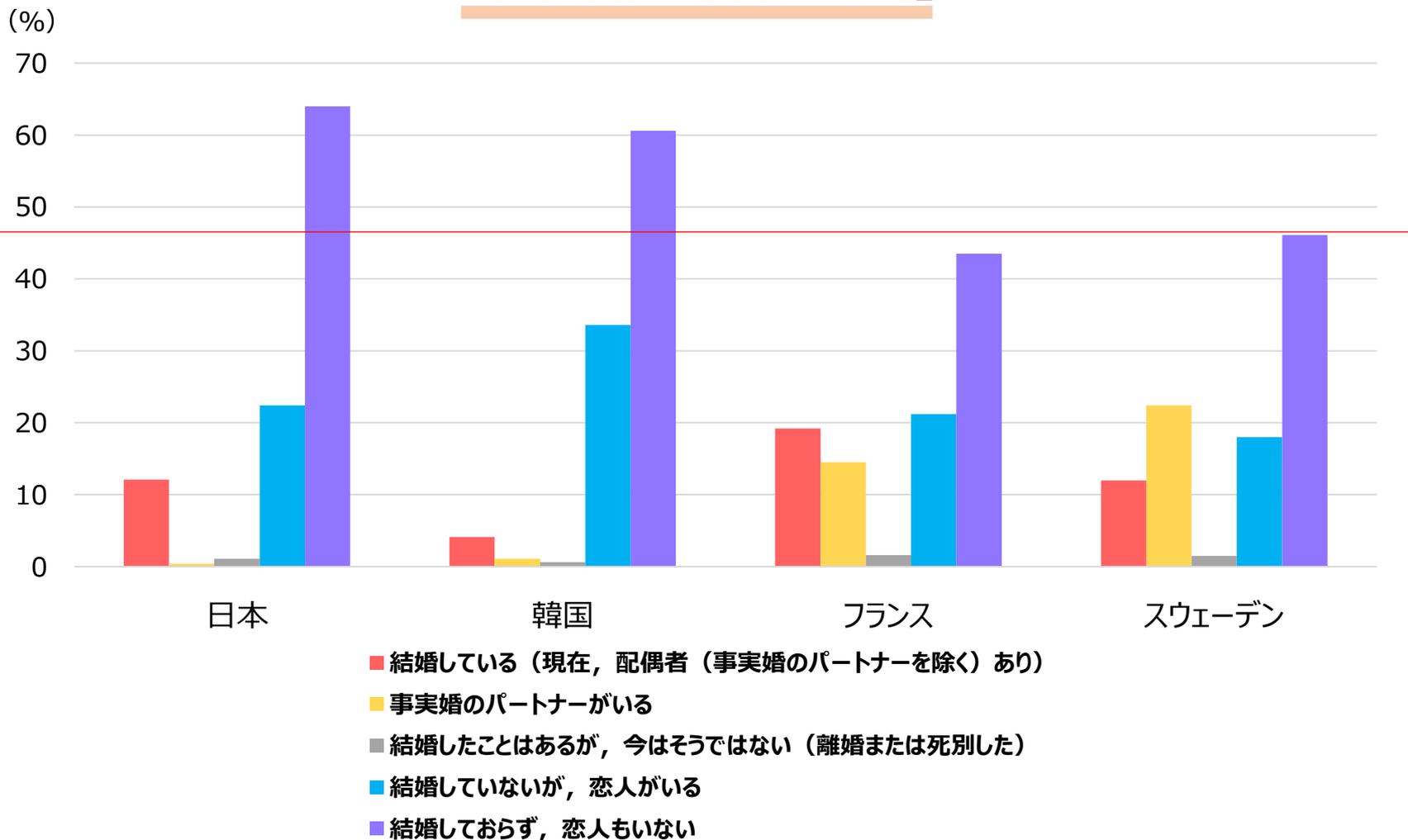
(出所)内閣府「少子化社会に関する国際意識調査(H27年度)」

# 日本：結婚したほうが良い理由



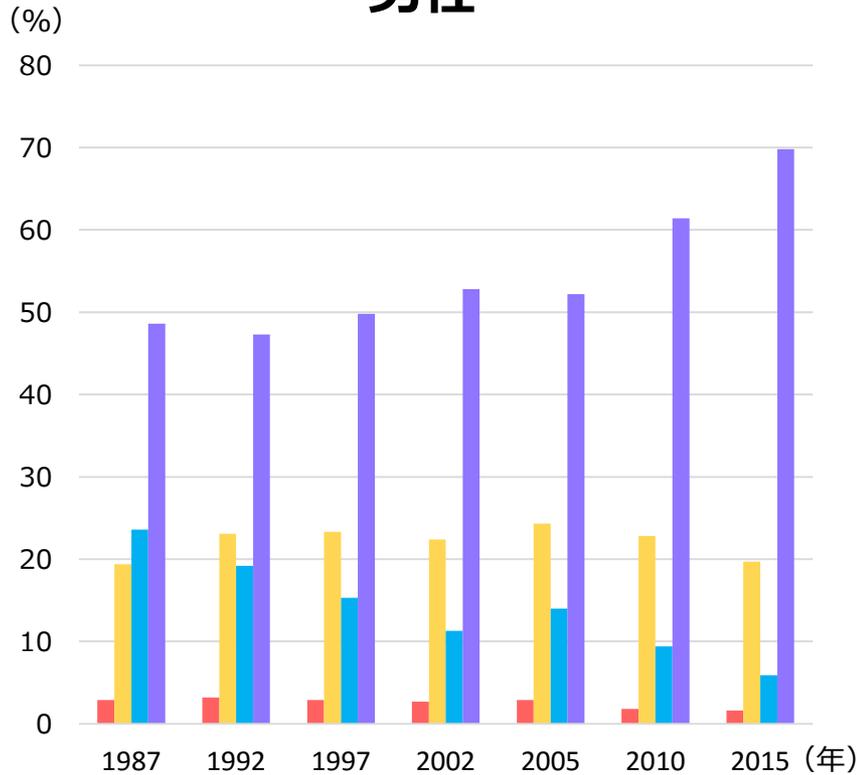
(注)結婚すべき、結婚したほうがよいと回答した人のみ対象(複数回答)  
 (出所)内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査 (H30年度)」

## 「婚姻ステータスについて」



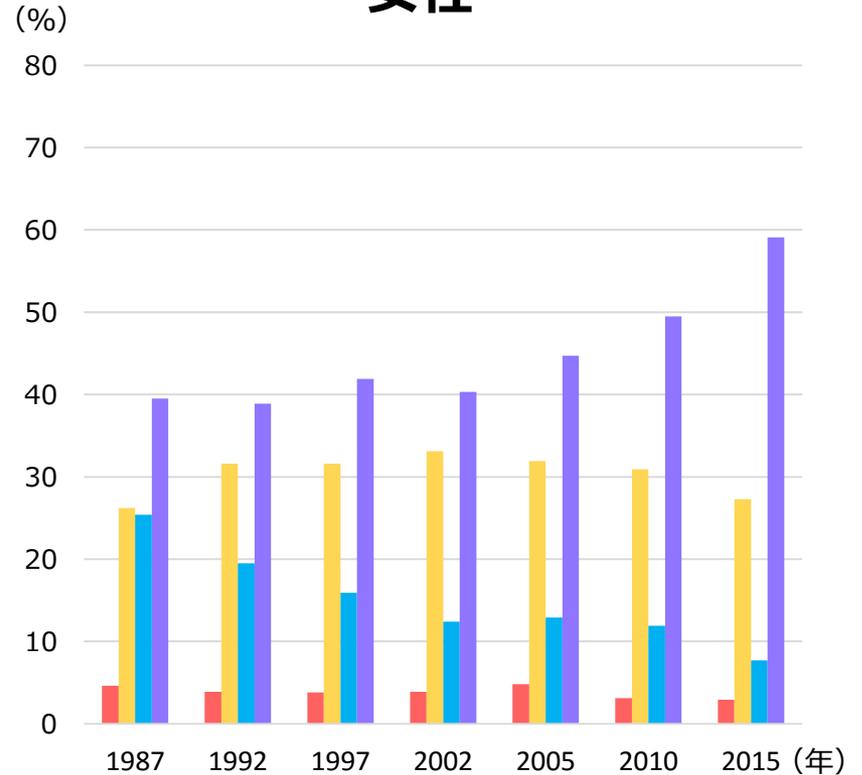
# 日本：男女とも「交際している異性はいない」と回答する割合が増加

## 男性



- 婚約者がいる
- 友人として交際している異性がいる

## 女性



- 恋人として交際している異性がいる
- 交際している異性はいない

(対象者)18 ~ 34 歳未婚者(離死別者を含まない)  
 (出所)国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」

日本：男性で7割、女性で5割が、特に行動を起こしていない

具体的な相手を探すための**行動の有無別・性別**でみた

結婚相手との理想的な出会いの場(複数回答)

			職場や仕事	友人・兄弟姉妹を通じて	街なかや旅先	サークル・クラブ・ 習い事	飲み会・イベント	合コンなどの 飲み会・イベント	親からの紹介または お見合い	出会いを仲介するインターネット のサービス	自治体などが主催する 婚活イベント	特にこだわらない
何らかの行動を 起こした	男性	31	38	31	26	22	32	11	17	14	25	
	女性	47	46	42	15	30	22	12	8	9	23	
とくに何も行動を 起こしていない	男性	69	35	19	16	14	17	5	6	4	45	
	女性	53	40	26	13	17	10	6	3	3	39	

(%)

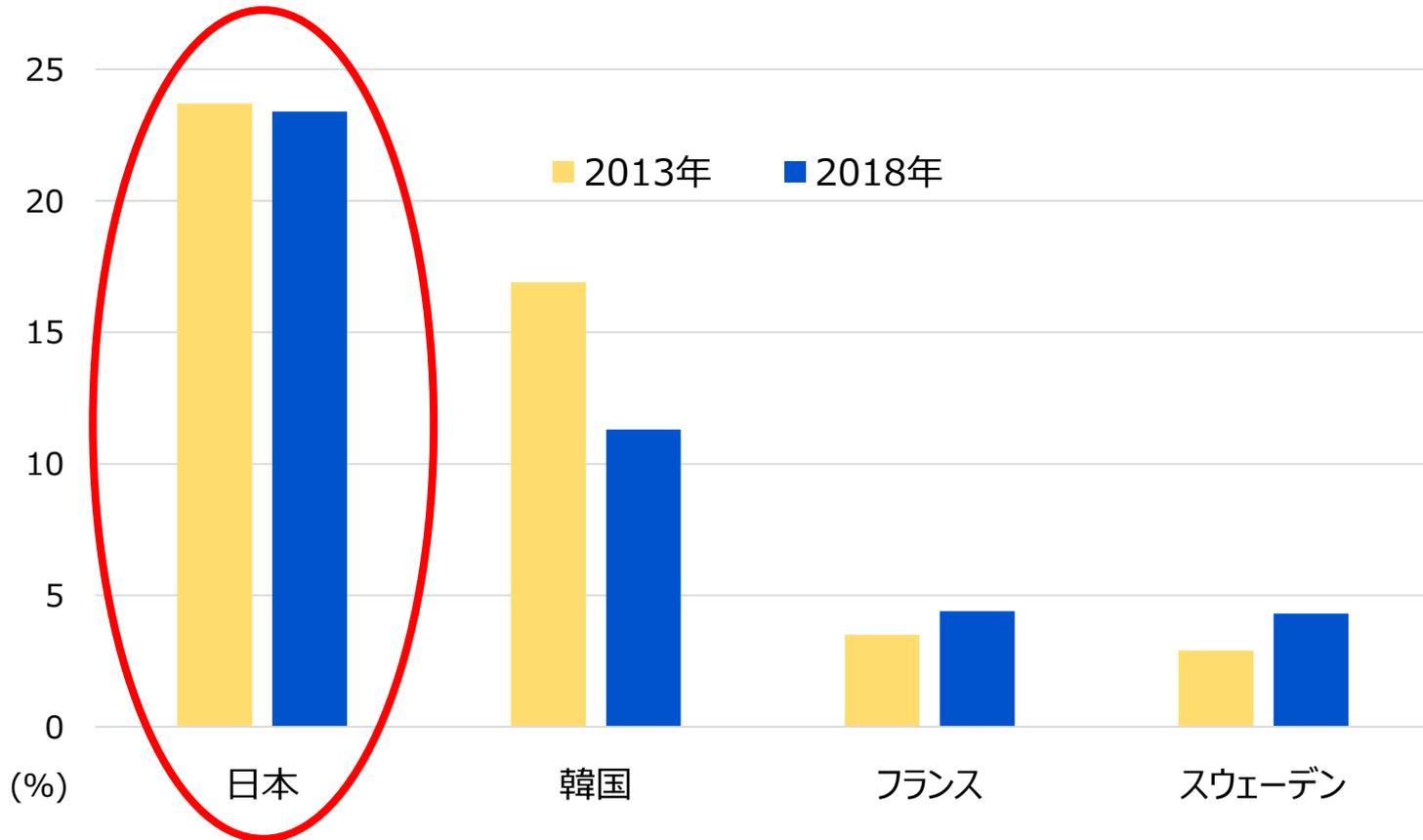
(対象者)結婚経験のない者のうち結婚意向のある者(婚約中除く)で、現在結婚していない理由について「適当な相手にめぐりあわない」と回答した

(注)回答率は少数第1位を四捨五入

(出所)内閣府「少子化社会対策に関する意識調査(H30年度)」

# 日本：異性とうまく付き合えない割合が高い

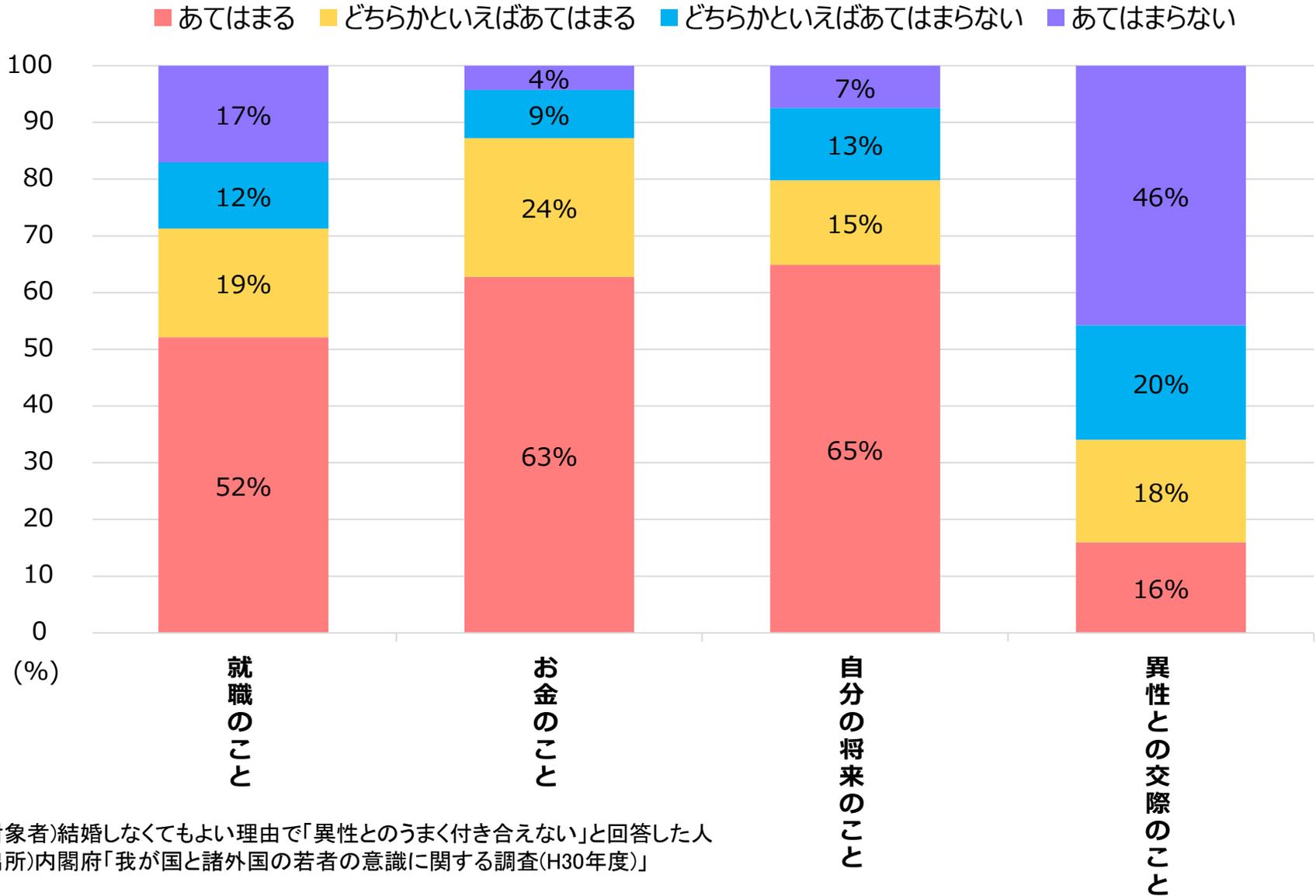
## 結婚しない理由に「異性とうまく付き合えない」と選択した割合(複数回答)



(注)結婚しなくてもよい、結婚しないほうがよいと回答した人のみ対象(複数回答)  
 (出所)内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H25年度,H30年度)」

# 異性とうまく付き合えないと答えた人の心配事

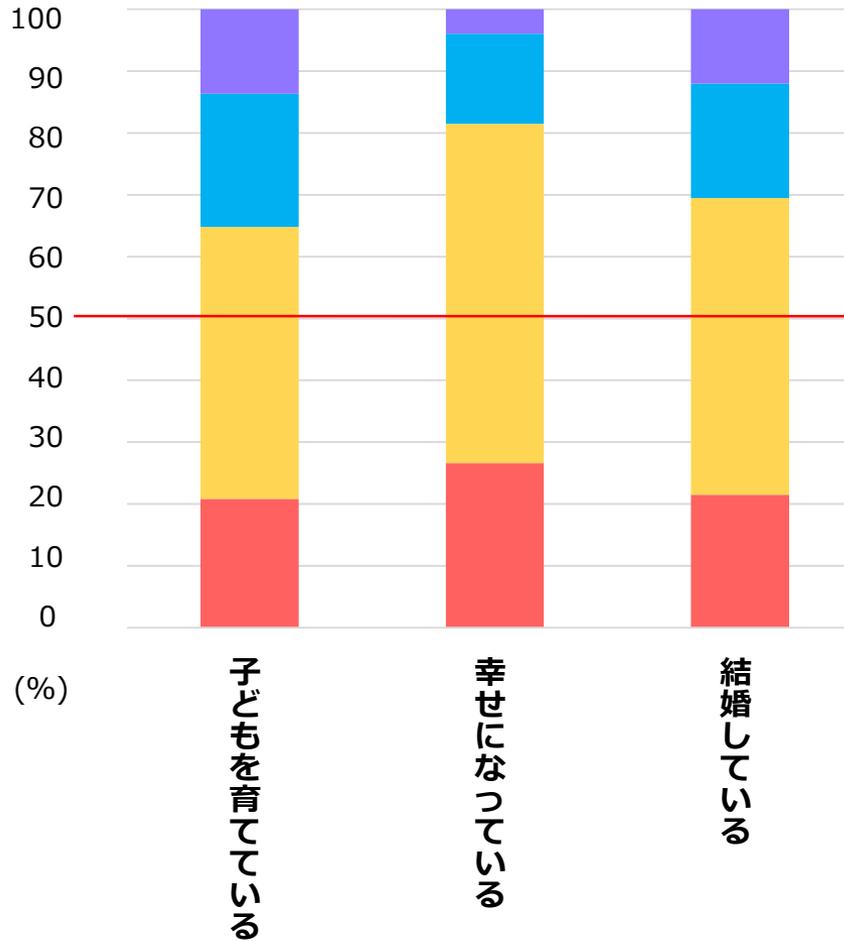
## 悩みや心配事



# 自己肯定感と将来イメージ

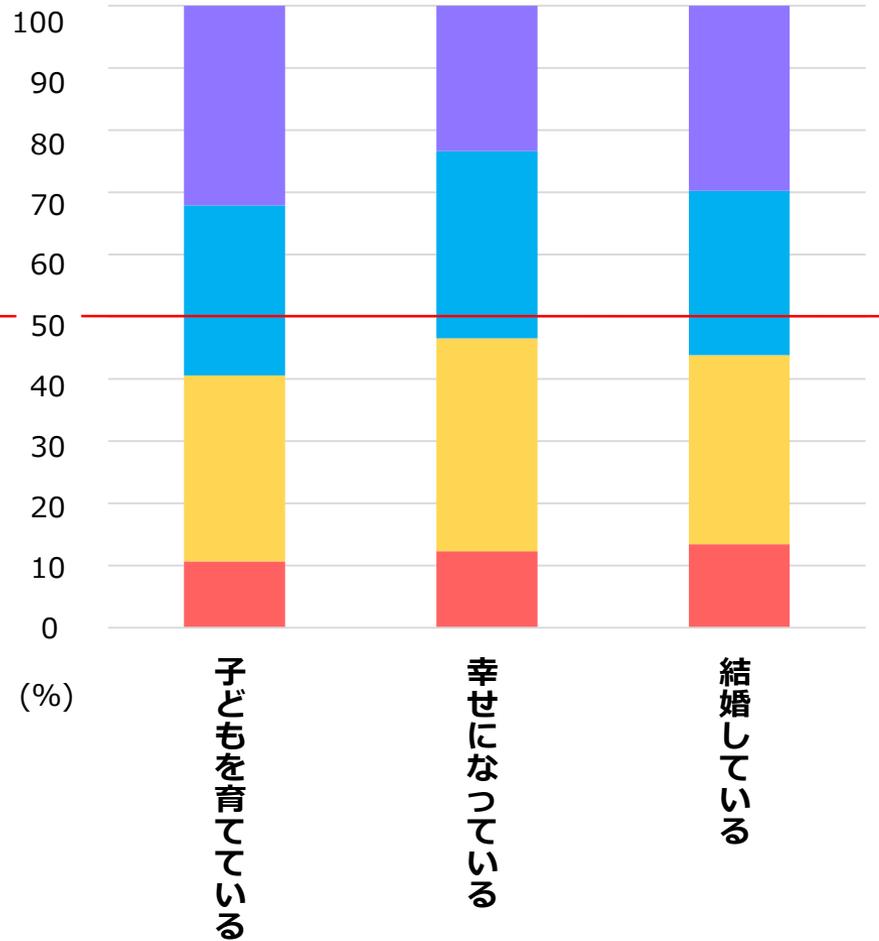
## 自分に満足している人の将来イメージ

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う



## 自分に満足していない人の将来イメージ

■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

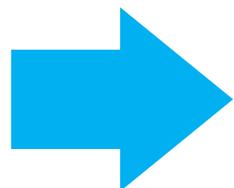


(対象者)13~29歳の未婚者(離別・死別者を含まない)

(注)「自分自身のイメージ (a) 私は、自分自身に満足している」に対して「そう思う」「どちらかというそう思う」と回答した人を自分に満足している人とし、「どちらかというそう思わない」「そう思わない」と回答した人を満足していない人とする

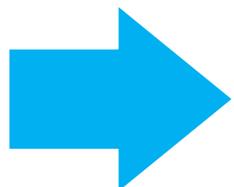
(出所)内閣府「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(H30年度)」

- ✓ 交際 = 結婚の傾向が比較的強い
- ✓ 男女ともに結婚のメリットは「自分の子供や家族を持てる」が最も高い



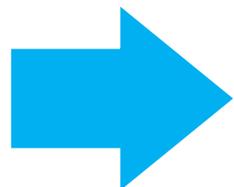
**男女ともに経済不安がある中、交際の時点で「子供を持つことの義務感」を果たせるかという基準が影響している可能性**

- ✓ 自己肯定感が高い人の方が将来イメージが明るく、結婚や子育てをしているイメージを持っている



**現状の満足度の低さはネガティブな将来イメージに繋がり、結婚のイメージも持ちづらい**

- ✓ 適当な相手とめぐりあわない背景には、行動をしていない層の存在
- ✓ 心配事は異性との交際より「お金」や「自分の将来」



**経済不安や将来不安による交際・結婚に向けた活動の先送り**